



## ものづくりインキュベーションセンター入居者審査委員会 開催報告

2月1日(水)にインキュベーションセンター会議室で、入居者審査委員会を実施しました。入居延長2社、新規入居2社について、各企業様が事業内容を発表した後に審査員との質疑応答を実施し、厳正な審査の結果、下記のとおり承認されました。

	No.	企業名・代表者	研究開発内容	入居期間
延長	4	(株)Social Area Networks 代表取締役 森田 高明	LPWAをベースとしたIoT機器の研究・設計・開発	令和5年3月1日～令和6年2月29日
	8	(株)ナガヨシ 代表取締役 金子 弘行	受精卵凍結保存容器の研究開発、新プラ素材(ライスレジン)を用いた製品開発	令和5年3月1日～令和6年2月29日
新規入居	9	(株)サージカル・スパイン 代表取締役 宮田 重夫	整形外科用チタン合金製脊椎間固定用インプラント(脊椎)ケージの開発	令和5年4月1日～令和6年3月31日
	11	(一社)地域おこし協力隊活動推進協会 代表理事 佐藤 恵美	地域特産品を利用した6次化商品開発	令和5年4月1日～令和6年3月31日

## アライアンス形成会議特別講演会

2月8日(水)にホテルハマツで特別講演会を開催し、約60人が参加しました。

デザイン経営による町工場変革の道程をテーマに講師の株式会社DG TAKANO高野雅章氏からは、目標を立てて、それを短期間で達成するためには戦略を作り、行動することの大切さを講演いただきました。



## ニューコメボードメンバー会議

2月15日(水)にインキュベーションセンターで、第3回ボードメンバー会議を開催しました。

今年度の事業報告及び次年度の事業計画案の説明後、参加メンバーからはデジタル人材増加に向けた催し等の要望や意見等が出されました。



## 【コラム】 郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議会員企業から

当社は、伊達市に本社を置き主にスクリーン印刷をメインに事業を展開しております。

スクリーン印刷とは、皆さんがよくご覧になる紙などへの一般印刷とは全く異なり、形があるもの全てに印刷できる技術です。また、印刷機が無くても手で印刷できる唯一の工法です。

元々は、京都の友禅染の工法で技術確立され、外国人向けにシルクのハンカチやスカーフへ印刷することで発展しました。素材とインキ以外にもペースト状にできれば様々なものに印刷でき、また印刷工法の中で一番精密な印刷ができるので、最近では電子部品(コンデンサやセンサー類)の分野で広く使われています。

業界として、高い技術力が求められますが、未経験で入社しても社員一人一人に合わせた教育計画を組んだり、人事評価として筆記試験や役員面接、力量評価により会社全体の技術力向上に務めています。またスクリーン印刷業界の市場拡大のために電子業界、医療分野に進出するなど新展開も模索しています。現在の取引先は、県外の企業が多いですが、県内企業の皆様とも一緒に製品開発したり、スクリーン印刷の魅力を多くの方に知ってほしいですね。



郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議  
佐竹 博志  
(株式会社アイ・エス・アイ 代表取締役社長)

